



7月 いるかぐみ クラスだよ!

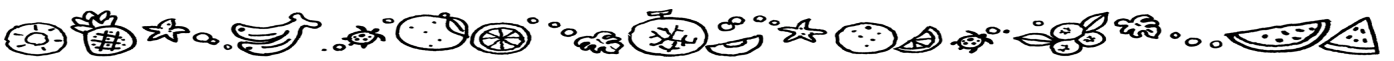


発行：令和4年・7月15日 担当：佐喜真吉乃

園庭にはたくさんの蝉の鳴き声が響き、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱい虫取り、どろんこ遊び、水遊びと、夏ならではの遊びをたのしんでいます。

少しずつ仲間意識も強まり、1人で頑張る姿から、お友達や先生と一緒に頑張る。お友達の励ましの声や、苦手な子には一緒に教えてあげるなど協力をする姿が、遊びや運動遊びを通して多くみられるようになり心の成長を強く感じています。

園長先生の大好きな言葉で「ちょっとだけがんばる・少しだけ挑戦してみる」という言葉をお集まりの時に伝えました。「たくさんがんばることは凄いけど、疲れちゃうんだよね。でも、毎日すこしだけ頑張ると、少しだけ苦手なことに挑戦すると頑張る気持ちが宇宙まで届くかもね。」と話をする、子ども達も、その話をお家の人に伝えてくれたり、少しだけやってみようとして挑戦する姿がふえたように感じます。23日には子ども達の心待ちにしている運動会があります。子どもたちの挑戦する姿・おともだちと楽しむ姿の応援をよろしくおねがいします



雨降りの園庭

今年の梅雨の時期は雨が続き、室内で過ごすことが多くなると思いましたが、子ども達が「みんな見て!園庭がプールみたいになってるよ!」と窓の外を眺めていました。

「雨の日に外で遊ぶのもたのしそうだね」という「先生、カッパお家にあるよ。遊んでみたい」という声があり、翌日カッパをつけて雨降り園庭で遊びました。

カッパに雨が当たる音や、蜘蛛の巣についた雨の滴をみて大興奮の子ども達。ビオトープにはカエルの卵もありじっと観察する子ども達もいました。

雨の日も楽しく遊ぶことができ、いつもとは違う園庭遊びを楽しんで喜んでいました。



お誕生日のバトンをつなごう

5月のクラスだよりで紹介したお誕生会の様子から自分はこの得意!先生みんなに発表したい!と自分の好きなことや得意なことを発表することが多くなりました。子どもだけではなく、担任も自分の大好きなことを発表しています。

編み物が得意な担任が、子ども達の前で手芸作品をみせ、実際に編み物をしている姿を発表すると「先生やってみて!」と編み物コーナーが誕生!

指編みのやり方をならい、それを友達にペアで教え男女問わず、髪飾りをつくったり、リングをつくり楽しむ姿がみられました。

なかには、いつもお手伝いをしてくれる事務所の先生に髪飾りをプレゼントしてくれる子と。やさしさが伝わる場面でした。



ゴーヤーの収穫はじまりました

5月に土づくりをし、ゴーヤーの苗を植え、毎日の水やり雑草とりを朝の活動として大切にお世話してきたいるかぐみさん。

今年度は、雨が多く心配ではありましたが、今年も大きなゴーヤーが収穫することができました。

誰が収穫したゴーヤーが一番大きいのか、ものさしで長さを図ってみたい!と収穫後は計測タイム。現在のチャンピオンは23センチです。先に持ち帰っている子からは、「ゴーヤーちゃんぶるーにしたよ」「ゴーヤスープにした」とさっそく調理をしておいしく食べた報告を聞きうれしく思います。栽培する経験、収穫する喜びを感じ、旬な食材(夏野菜)を旬な時期に食べる経験ができるよう

今後子ども達と話し合いを深めながら関わっていきたくです。

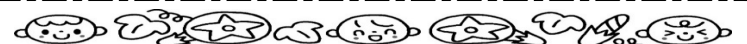


園庭がリニューアルしました!

子どもたちが大好きな遊び場、そして集いの場である園庭。その園庭が、リニューアルしました。

子どもたちが、ドキドキ・ワクワクする、子ども達の豊かな育ちの場となる園庭ってどんな園庭なんだろう。と遊道体操の宮沢先生からアドバイスをもらいながら職員で話し合いをしてきました。

とても高さがあるブランコ・大きな泥山・木につながった丸太と、大人がみると「けがしないかな。どうやって遊ぶんだろう」と思うこともあると思いますが、子どもは遊びの天才!1メートル10センチほどの高さのあるブランコは今までと違い簡単にのることはできません。「のれない」と声もありましたが、いるかぐみさんは、キラキラ輝いた表情でいざ挑戦。全身をつかいよじのぼり、ブランコを楽しんでいます。高いほうが楽しいと大喜び。遊びの楽しみの要素「冒険・挑戦」がたくさんつまんだ園庭で安全に楽しんでいきたいです。





運動会への想い

ゆうわ認定こども園で最後の運動会をむかえる、いるか組さん。運動会に向けて、何度も子ども達と運動遊びの内容の話し合いをかさねてきました。

子ども達からは、今まで自分達が挑戦したいことや、経験して楽しかったことがたくさんできて話し合いの結果、運動遊びは「長縄」「跳び箱」「リレー」に決まりました。

担任が、「練習する時間は自分たちの遊ぶ時間のなかでつくってほしいこと。先生たちは、練習したい！ということならたくさん応援するからね。」と伝えると、遊びの中で練習に取り組む子や、「一緒に跳び箱の練習をしてほしい」と伝えに来る子、練習せずに遊び続けている子、「できない」とその場から離れてしまう姿も見られました。

このままでは、運動会本番が笑顔で楽しんでいる子と、うまくできずにこまっている顔をみせることにならないかな。みんなのかっこいい姿・お友達とみんなで楽しんでいる姿をみせるにはどうしたらいいかと子どもたちに再度気持ちの確認をとると、縄跳びは上手に飛べる人は苦手なお友達にとび方を教えてあげる。

練習をしなければ、上手にできないから頑張る！と子どもたちの取り組む姿勢に変化ができました。

自分なりの目標をもち、自分だけではなくお友達と協力し共に楽しみながら自分の力を発揮できる場となれるよう、ご家庭でも温かい応援よろしくお願い致します。



ゴーヤーのサイズをはかっています。何センチかな？



子ども達の大好きな遊道体操



お誕生会の様子。レゴ博士

